
「当院で経験した子宮肉腫症例の臨床的特徴と治療成績に関する後方視的検討」に関するお知らせ

このたび、埼玉医科大学国際医療センターで診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、埼玉医科大学国際医療センター臨床研究 IRB の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2007/07/01～2025/06/30 に埼玉医科大学国際医療センターで子宮肉腫に対して治療を受けた患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

子宮肉腫は婦人科の悪性腫瘍の中でも非常にまれで、全体の 3-5%程度しかありません。そのため、十分な研究が難しく、標準的な治療法がまだ確立されていません。現在の治療では、軟部肉腫に似た化学療法や特定の薬が使われますが、効果が限られる場合も多く、予後の改善が課題です。この研究では、埼玉医科大学国際医療センターで集めた過去の患者さんのデータを分析し、病気の特徴を明らかにして、将来の治療に役立つ情報を提供することを目指しています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

研究実施許可後から、約1か月程度

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

検査データや診療記録（抗がん剤投与記録、使用薬剤、診断、手術記録など）をカルテを参照しつつ使用します。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学国際医療センターにおいて、研究責任者である佐藤正易が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

子宮肉腫と診断された患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 佐藤正易（研究責任者）

4. 試料・情報の管理責任者

埼玉医科大学国際医療センター 病院長：佐伯俊昭

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 佐藤正易

住所：〒350-1298 埼玉県日高市山根 1397-1

電話：042-984-4177（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：masatoh@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：当院で経験した子宮肉腫症例の臨床的特徴と治療成績に関する後方視的検討

○研究責任（代表）者：埼玉医科大学国際医療センター 婦人科腫瘍科 佐藤正易